



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

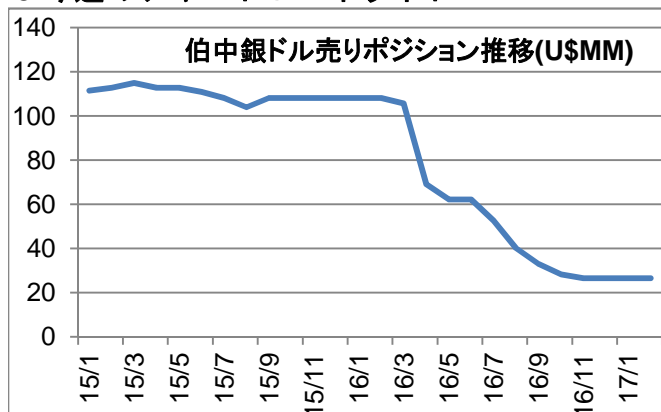
			1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1270	3.1490	3.1280	3.1220	3.1230	+0.0010
	BRL/JPY	Spot	36.35	35.79	36.14	36.12	36.16	+0.04
	EUR/USD	Spot	1.0694	1.0804	1.0775	1.0762	1.08	+0.0005
	USD/JPY	Spot	113.64	112.71	113.05	112.74	112.96	+0.22
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	11.67	11.63	11.62	11.59	11.56	-0.0350
	Future	1Year(p.a.)	10.86	10.80	10.78	10.75	10.73	-0.0192
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.997	2.112	2.212	2.122	2.06	-0.062
	USD	1Year(p.a.)	2.319	2.383	2.457	2.386	2.32	-0.065
株式	Bovespa指数		64,317.14	64,675.66	64,836.13	64,340.06	64,953.93	+613.87
CDS	CDS Brazil 5y		246.42	249.83	249.30	242.85	239.23	-3.62
商品	CRB指数		191.263	192.035	194.335	193.520	193.20	-0.318

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.1台で揉み合う展開。
- 週初のレアルは3.1410で寄り付き、大口の資金流入と思しきレアル買いで週間高値3.1030を示現。その後、伯中銀総裁がレアル高に対する懸念を示したことを受けてレアルは反落し、週間安値3.1620を示現した。週末にかけては1月の米失業率が予想に反して上昇したことを受けて利上げ期待が後退しドルが下落。結局3.1230で越週。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2017年と2018年の経済成長率予想が0.50%と2.20%にいずれも据え置かれた。2017年のインフレ率予想は4.71%から4.70%に4週連続で下方修正され、2018年予想は4.50%に据え置かれた。2017年間の政策金利予想は9.50%に据え置かれ、2018年予想は9.38%から9.00%へ大幅下方修正された。
- 伯中銀は週初に1月末日のドル売りスワップポジションを全額ロールオーバーしたが、その後ゴールドファイン総裁が「3月に期限を迎える70億ドルの為替スワップのロールオーバーを実施するかは市場の状況次第」との見解を示した。2月に入ってからドル売りポジションのロールを停止。経済効果としてはドル買い介入と同等。
- 1日のFOMCでは政策金利の据え置きが決定された。声明では経済が緩やかな拡大を続けて来たとの見方が維持され、インフレ率が引き続き目標を下回っており、緩やかな利上げペースを維持するとの方針が示された。
- 2日、伯下院議長選挙が行われ、予想通り民主党のマイヤ氏が当選した。テメル政権と良好な関係を持つ同氏の当選を受けて年金改革法案の下院議会通過への期待が高まった。
- 3日に発表された1月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数は市場予想を上回ったが、失業率が予想に反して2ヶ月連続で上昇。また、賃金の伸びが鈍化したことが材料視され、ドルは総じて軟調推移となった。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

伯中銀、ドル売りポジションのロールを停止

レアルが3ヶ月振りの高値をつけ、1年半ぶりに節目となる3.1に接近したことを受け、ゴールドファイン伯中銀総裁はレアル高への懸念を表明。中銀はドル買い介入と同等の経済効果となる、ドル売りポジションのロールオーバー停止を決定。かつて2015年には、レアルが史上最安値をつける中で伯中銀のドル売り介入ポジションは1150億ドル近くまで積み上がったが、この一年は期日到来によるポジションの自然減やドル買い介入で伯中銀のドル売りポジションは縮小。足元では265億ドルと、ピーク時の2割強まで減少している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.05－3.20

来週は伯中銀の介入姿勢が焦点。今週の伯中銀総裁のレアル高懸念発言とドル売りポジションのロール停止で、市場参加者の間では3.10が防衛ラインとして意識され始めている。しかし、既存ポジションのロールを停止するだけではインパクトに欠け、レアル高傾向は止まらないだろう。市場参加者は伯中銀がこのラインで更にドル買い介入金額を増やすかどうか注目にしている。一旦は3.10をブレイクする可能性が高いが、伯中銀の介入姿勢次第でレアルは徐々に上値を試しづらくなると予想する。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE消費者物価指数(月次)	0.50%	0.32%	0.72%
ブラジル	マーケット・ブラジルPMIコンポジット	--	44.7	45.2
ブラジル	マーケット・ブラジルPMIサービス業	--	45.1	45.1
米	非農業部門雇用者数変化	180k	227k	157k
米	失業率	4.7%	4.8%	4.7%
米	ISM非製造業景況指数(総合)	57.0	56.5	56.6
米	製造業受注指数	0.5%	1.3%	-2.3%
米	耐久財受注(前月比)	-0.4%	-0.5%	-0.4%

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	2/6	自動車生産台数(伯自工会)	Jan	--	200887
ブラジル	2/6	自動車販売台数(伯自工会)	Jan	--	204329
ブラジル	2/6	自動車輸出(伯自工会)	Jan	--	62941
ブラジル	2/6	貿易収支(週次)	Feb 5	--	\$1057.8
ブラジル	2/7	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Jan	0.49%	0.83%
ブラジル	2/7	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Jan	6.09%	7.18%
ブラジル	2/8	FGV CPI IPC-S	Feb 7	0.72%	0.69%
ブラジル	2/8	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	Jan	0.43%	0.30%
ブラジル	2/8	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Jan	5.41%	6.3%
米	2/8	MBA住宅ローン申請指数	Feb 3	--	-3.20%
ブラジル	2/9	IGP-M Inflation 1st Preview	Feb	0.35%	0.86%
米	2/9	新規失業保険申請件数	Feb 4	250k	246k
米	2/9	卸売売上高(前月比)	Dec	--	0.4%
ブラジル	2/10	FIPE CPI-週次	Feb 7	0.23%	0.58%
米	2/10	ミシガン大学消費者マインド	Feb	97.7	98.5

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。